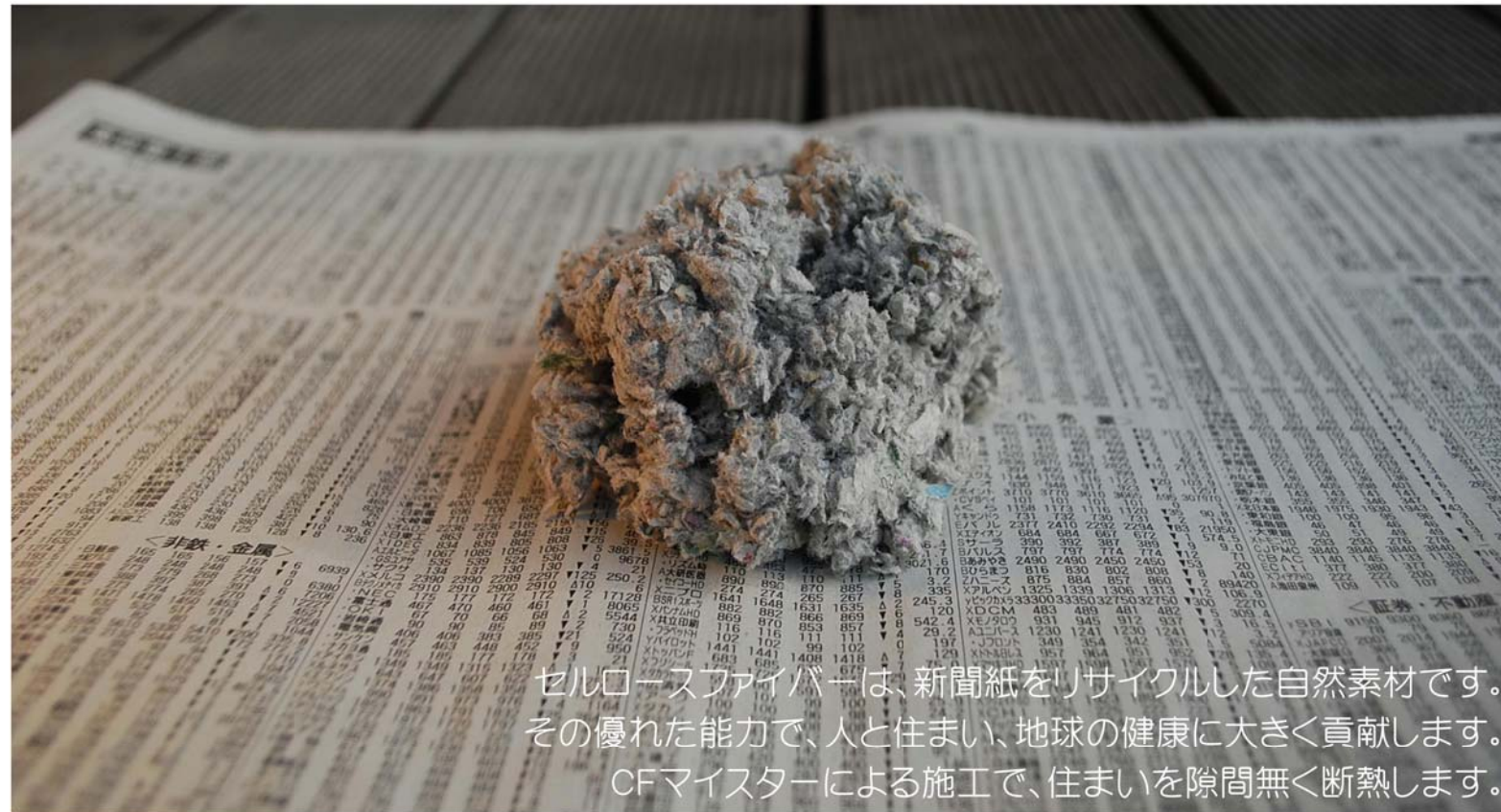


セルロースファイバー断熱材

リサイクル新聞紙を原料とした、一番エコな断熱材。



セルロースファイバーは、新聞紙をリサイクルした自然素材です。その優れた能力で、人と住まい、地球の健康に大きく貢献します。CFマイスターによる施工で、住まいを隙間無く断熱します。

セルロースファイバーの特徴

- CFマイスターの施工による、優れた断熱性能
- 紙や木と同様の木質繊維による、優れた調湿性能
- ホウ酸、ホウ砂による、優れた難燃性能と防蟻性能
- 繊維の吸音効果による、優れた防音性能
- リサイクル新聞紙を原料とする、優れた環境性能

01 断熱性能

冬暖かく、夏涼しい快適な住まい
冷暖房費の削減で家計に優しい
高齢者のヒートショックを防止

03 難燃性能

自己消化機能で、延焼を防止する
ガスを出したり、溶けたりしない

05 防蟻性能

シロアリが食べない、寄らない
効果は半永久

06 環境性能

少ない製造エネルギー
冷暖房エネルギー削減

02 調湿性能

夏の蒸し暑さを和らぐ
冬は適度な加湿で過乾燥を防止
壁や屋根内部の結露を防止

04 防音性能

外の騒音を低減する
ホームシアター、ピアノルーム

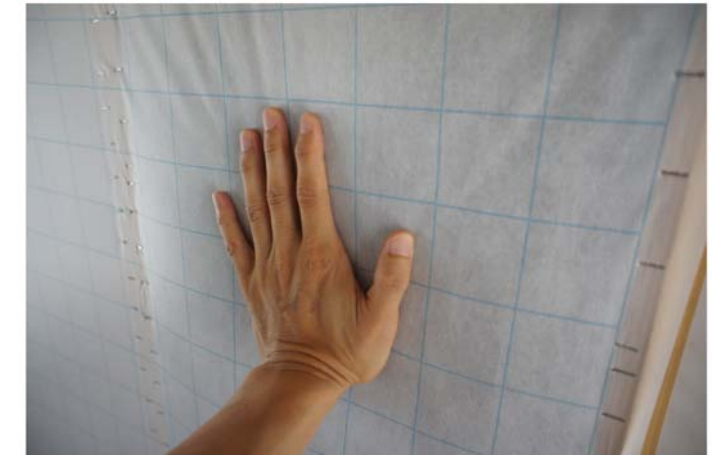


日本の気候に最適な住まい

日本の気候は、四季の移ろいにより、美しい自然を育みます。春は桜を楽しみ、初夏は鮮やかな新緑にみずみずしさを覚える。秋は真っ赤な紅葉に感動し、冬は純白の雪景色に荘厳さを感じる。世界中でこれほど季節感にあふれた、素晴らしい風土は無いでしょう。そして、日本の住まいは、四季と共に暮らすように、木と土壁で造られてきました。風通しと土壁の調湿効果により、まるで、家全体が自然呼吸をしているようでした。そのおかげで、夏は涼しく快適で、また、優れた耐久性を実現していました。現在では、高断熱住宅が主流となり、季節を問わず快適な住まいとなりました。しかし、日本の気候を考慮しない断熱化は、住まいを病気にする危険を伴います。壁や屋根の中で結露水が発生し、土台や柱を腐らせることもあるのです。私たちのセルロースファイバーの家は、内部結露の防止に自信があります。理由は、簡単です。空気中の湿気が冷やされて水に変身する前に、湿気を外部に逃がしてしまうからです。これは、障子紙に結露水が付かないことと同じ原理です。一方、ガラスは湿気の逃げ場がないため、結露水が付きやすいのです。また、局部的に冷えた部分には湿気が集まり、結露の危険が高まります。CFマイスターによる隙間の無い均一な施工は、局部的に冷える部分をつくりません。セルロースファイバーは、日本の気候に適した、快適で長持ちな住まいを実現します。

CFマイスターによる確かな施工

CFマイスターは、セルロースファイバー(CF)を専門に施工する技能者です。柱の室内側に専用のシートを貼った後、柱の厚み分、乾いたCFを目一杯吹きこみます。施工完了後は、少しかための布団のように、壁がフカフカになります。筋交いや建築金物がある部分も、隙間無く、しっかりと断熱施工します。



地産eco断熱工場からお届けします。私たちのこだわりは、地域の新聞紙を原料とすること。軽くてかさばる断熱材の輸送は、空気を運ぶようなもので効率が悪く、長距離輸送には、多くのCO2が排出されます。また、長距離輸送の費用が、建築コストに上乗せされます。原料の新聞紙は、地域にあります。地域の工場でCFを製造し、住まいの現場に直接お届けします。

